

平成 29 年 12 月 27 日

各 位

株式会社 みなと銀行
淡陽信用組合
みなとキャピタル 株式会社

「ひょうご6次産業化ファンド」による投資先決定について

みなと銀行（頭取 服部博明）グループ及び、淡陽信用組合（理事長 山本英博）が株式会社 農林漁業成長産業化支援機構（A-F I V E）と共同で設立した「ひょうご6次産業化ファンド投資事業有限責任組合」は、株式会社 Domaine KOSEI（ドメヌコーセイ、以下当社）への投資を決定しましたのでお知らせします。

なお本件は、「やまなし6次産業化応援投資事業有限責任組合」と共同で当社へ出資を行うものであり、今後、両者は連携して支援してまいります。

当社は、ワイナリーやレストラン、ホテル等を運営するレゾングループ（本社：尼崎市）の一社として長野県塩尻市でワインを醸造するため、平成 29 年 6 月に設立された 6 次産業化事業体（※）です。今後（平成 31 年 9 月頃）、原料のブドウをレゾングループの現地圃場等から調達し、地域の自然環境を活かした高品質の日本ワインの生産を開始する予定です。

（※）6次産業化事業体とは、農林漁業者（1次産業者）が主体となって、2次・3次事業者と合弁で設立する法人で、加工・販売の一体化や、地域資源を活用した新たな産業創出等に取組む事業体のこと。

調達する資金は、国際的評価の高い赤ワイン醸造用葡萄「メルロー」を原料としたワインの製造拠点の整備に充当するもので、当ファンドでは、当該事業が兵庫を本拠に事業展開するレゾングループの事業拡大、長野県産ワインのブランド化や当地生産者の所得向上・雇用拡大にも寄与することから出資を決定いたしました。

ひょうご6次産業化ファンドは、今後とも、地域の6次産業化事業体への出資等を通じて、国内農産物のブランド力向上や、地域経済の活性化に取り組んでまいります。

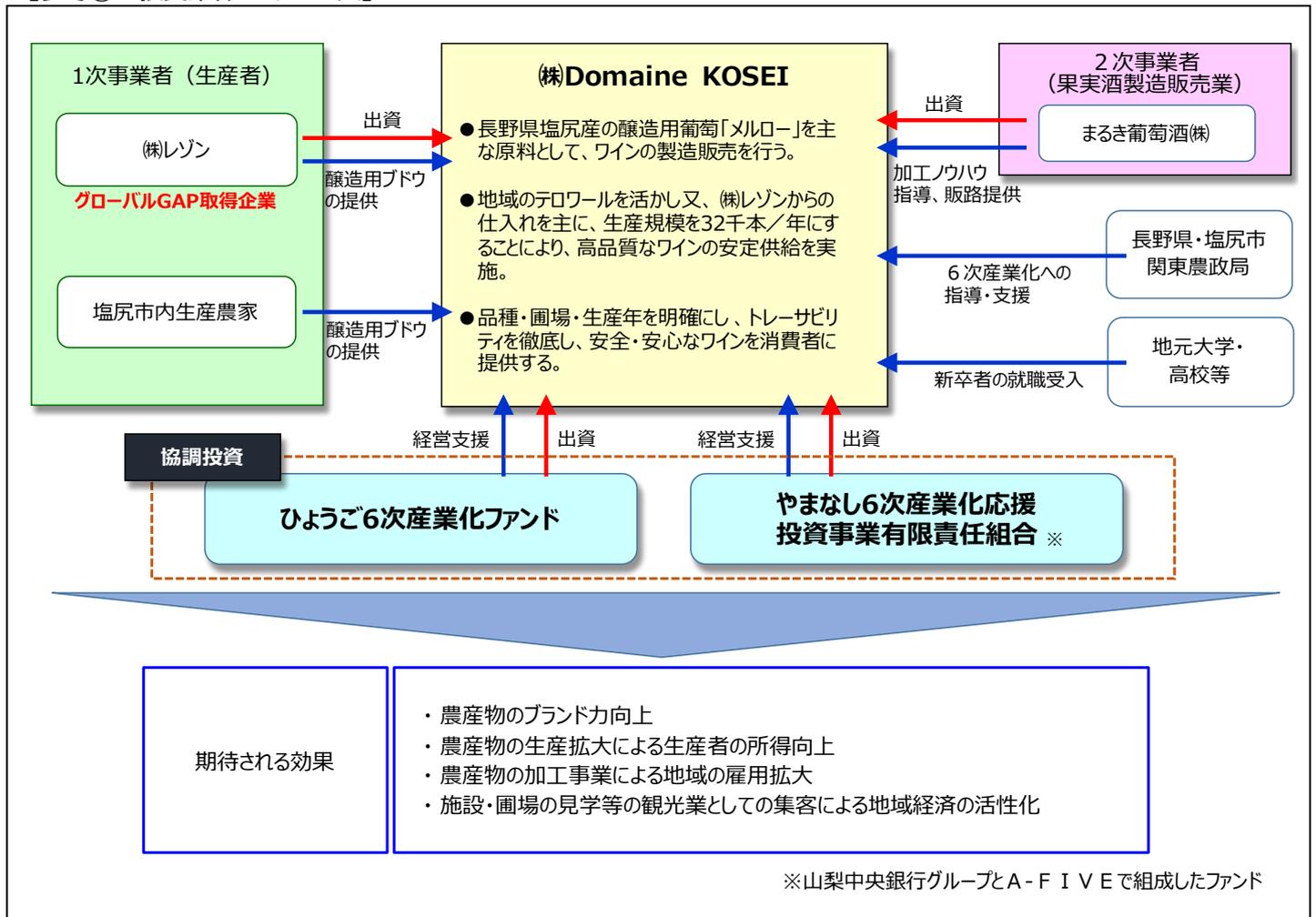
【投資案件の概要】

投資先	株式会社 Domaine KOSEI 代表者 清川 浩志
所在地	長野県塩尻市片丘 7922 番地 1
業 種	果実酒葡萄酒の製造販売
投 資 概 略	○金額 15 百万円（当ファンド出資額） ○形態 普通株式および無議決権株式の引受 ○投資事業 北海道、山梨県、群馬県、長野県で醸造用ぶどうを栽培している（株）レゾン（農地所有適格法人）と山梨県でワインを醸造している、まるき葡萄酒（株）が連携し、長野県塩尻市でワイナリーを運営し、日本産ワインの製造販売を行う。

以 上

本件に関するお問い合わせ先
企画部 広報室 藤井 TEL:078-333-3247

【参考①：投資案件スキーム図】



【参考②：「ひょうご6次産業化ファンド」の概要】

名 称	ひょうご6次産業化ファンド投資事業有限責任組合
設 立 日	平成26年1月1日（水）
ファンド総額	10億円
存 続 期 間	15年
出 資 者	株式会社みなと銀行 : 4.8億円 淡陽信用組合 : 0.1億円 株式会社農林漁業成長産業化支援機構 : 5.0億円 みなとキャピタル株式会社 : 0.1億円
投 資 対 象	農林漁業者（1次産業者）と2次、3次産業の事業者（パートナー企業）が共同で設立する6次産業化事業体、農業法人等
ファンド運営会社	みなとキャピタル株式会社